

公明党江東総支部

総支部長



東京都議会議員 細田 いさむ

江東区議会公明党

幹事長 石川 邦夫

児童・生徒の入学者選抜等にかかる新型コロナウイルス感染症に対する  
PCR検査の早期実施の要望

江東区、江東区保健所、江東区教育委員会等の関係機関・関係者においては、コロナ禍における区民の健康や生活を守るために、高い使命感を持って全力で動いてくれていることに対し心から御礼を申し上げます。

間もなく1年となる新型コロナウイルス感染症の流行は未だ収束には至らず、都内は1月8日からの緊急事態宣言のもと猛威を振るっています。

この様な中で江東区内の中学校では、1月に入りクラスターではないものの複数の陽性者と多くの濃厚接触者が生じる状況になっています。

これから春頃まで、児童生徒の入学試験選抜が本格化する時期と重なりますが、予期せずに濃厚接觸者となってしまった場合に受験をするためには、行政によるPCR検査をふまえて陰性が判明していることが必要な条件となっています。

しかしながら、感染拡大の進行とともに、検査結果の判明に日にちを要して長引く事態や、さらには濃厚接觸者の特定があつてもPCR検査を受けられないといった状況も聞き及んでおります。このままでは突然に濃厚接觸者とされた多くの児童生徒達が行政によるPCR検査を受けることができずになり結果がわからなくて入学者選抜等の受験が出来なくなる事態が大いに危惧されています。よって以下の要望をいたします。

記

1. 都立等の公立高校、中学校などの受験を希望している児童・生徒が新型コロナウイルス感染症の濃厚接觸者となった場合に、江東区保健所が認める速やかなPCR検査を実施し、その結果を受験に間に合うように通知すること。
2. その他、必要な配慮措置を取ること。

以上